

平成24年度科学技術関係予算の重点化について

～ アクションプラン及び政策ユニットによる重点化～

平成24年度科学技術関係予算の重点化について

平成24年度科学技術関係予算については、科学技術重要施策アクションプラン対象施策に資源配分を最重点化するとともに、これまでの優先度判定を見直し、重点政策ユニットの設定により重点化を行う。

アクションプラン

総合科学技術会議が目指すべき社会の姿、政策課題、重点的取組を設定し、各府省との連携により方向性に沿った施策を具体化

予算上の位置付け: 最重点

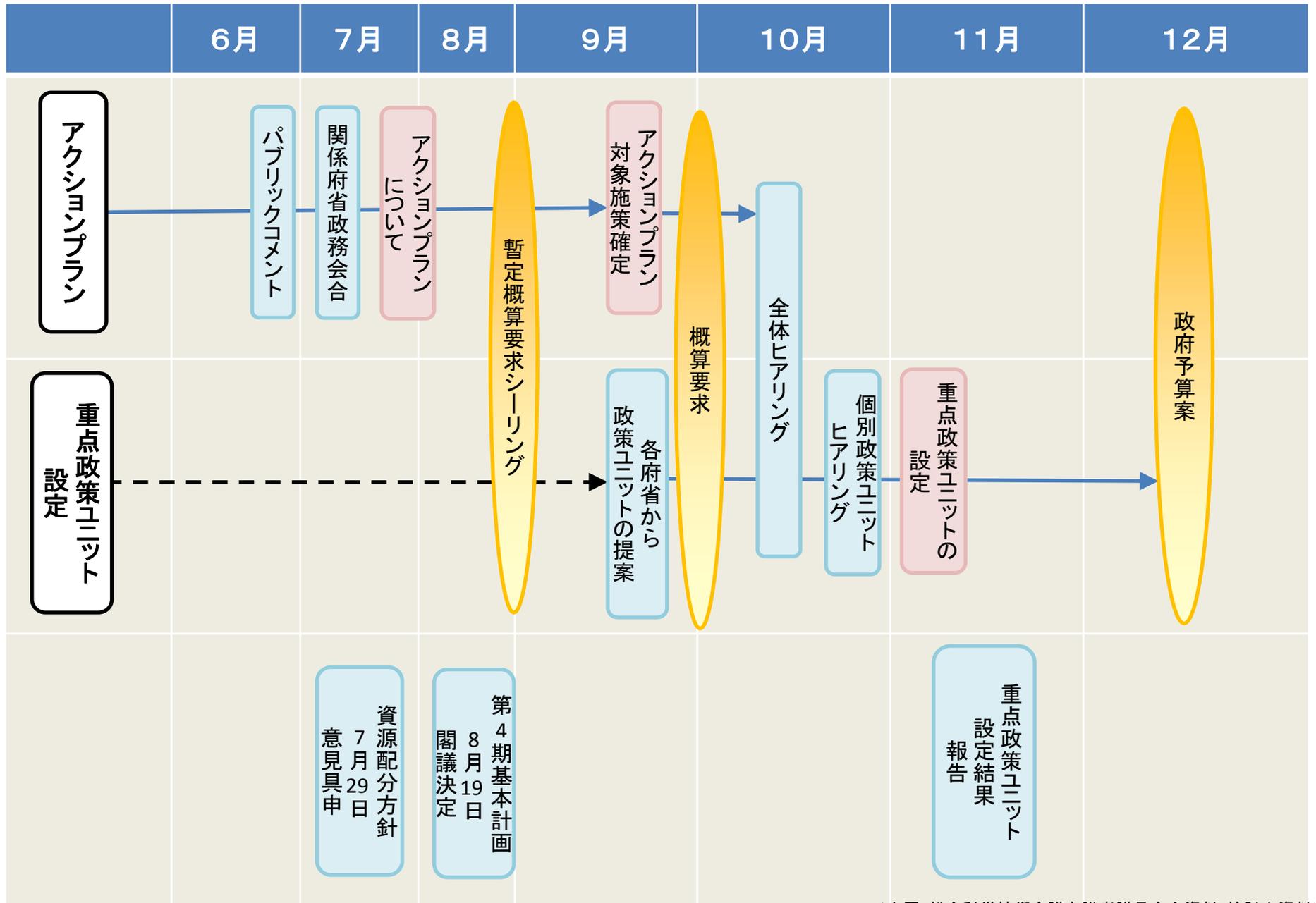
重点政策ユニット

各府省が特に推進しようとする政策ユニットの提案を行い、総合科学技術会議が重点化すべきと位置付けるものを設定

予算上の位置付け: 重点

平成24年度科学技術関係予算重点化の流れ

大臣有識者
決定



全体ヒアリングについて

全体ヒアリングは、各府省の科学技術関係予算の概算要求に関し、10月上旬に実施。

○ 府省についてのヒアリング事項

- 第4期基本計画を踏まえた、各府省の取組内容及び予算重点化の考え方（各府省の重要課題、政策目標、アクションプラン及び政策ユニットへの取組等）

○ 研究開発法人・国立大学法人について主なヒアリング事項

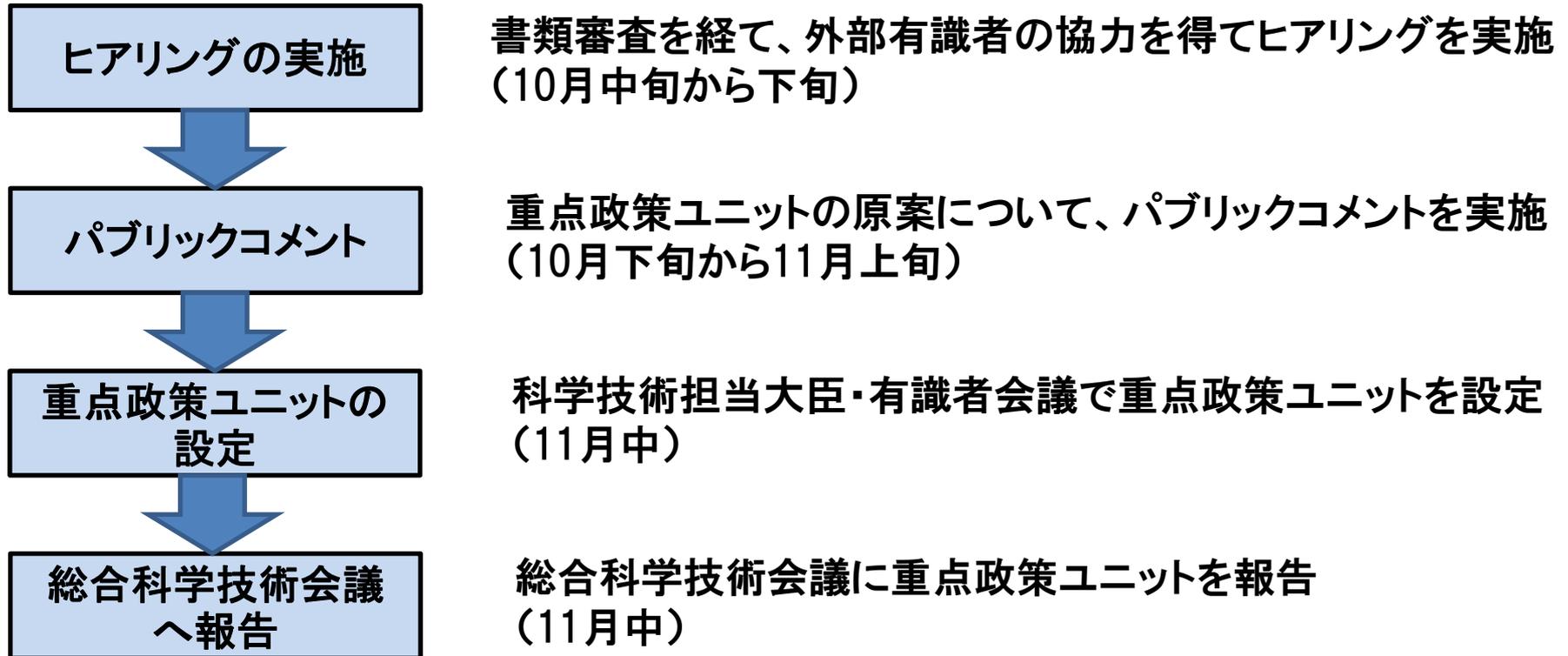
- 各研究開発法人の戦略的な目標と目標達成のための取組
- アクションプラン、政策ユニット推進上の所管各研究開発法人の位置づけ・期待する役割

◆ ヒアリングの体制

内閣府：科学技術政策担当政務3役（都合が付けば）、有識者議員（非常勤も含む）

各府省：政務官（都合が付かない場合には、局長・審議官クラスも可）

重点政策ユニットの設定の流れ



- ◆ ヒアリング対象
各府省から提案された政策ユニットに対し、書類審査を実施し対象を決定
- ◆ ヒアリングの体制
内閣府：有識者議員(主担当、副担当を設定)及び必要に応じて外部専門家
各府省：課室長クラス
- ◆ 外部専門家について
担当議員が事務局に指示して人選。各領域毎に一定の外部有識者(若手専門家を昨年程度の割合で含める。)をリストアップしておき、要求政策ユニットの提案内容・提案数に応じてヒアリングの招聘者を決定。(昨年度は、外部専門家150人程度を招聘(うち、60名程度が若手研究者))

第4期科学技術基本計画を踏まえた領域

第4期基本計画該当部分	領域
Ⅱの2	震災からの復興・再生の実現
Ⅱの3	グリーン・イノベーション
Ⅱの4	ライフ・イノベーション
Ⅲの2の(1)	安全、豊かで質の高い国民生活
Ⅲの2の(2)	産業競争力強化
Ⅲの2の(3)	地球規模問題解決
Ⅲの2の(4)	国家基盤保持
Ⅲの2の(5)	共通基盤の充実・強化
Ⅲの4	国際・科学技術外交
Ⅳの2	基礎研究
Ⅳの3	人材育成
Ⅳの4	研究環境及び基盤の形成
V	社会とともに創り進める政策展開

科学技術に関する予算等の資源配分方針の概要

参考

(平成23年度7月29日総合科学技術会議意見具申)

I. 第4期科学技術基本計画期間における予算等の資源配分方針

科学技術関係予算（本省研究開発費、運営費交付金等）の全てに関する資源配分について

- 科学技術重要施策アクションプラン（AP）対象施策に資源配分を最重点化
- これまでの優先度判定を見直し、これにとって代わる新たな予算編成プロセスを導入

第4期科学技術基本計画に掲げる政策を着実に実行し、重要課題への対応とともに基礎研究や人材育成を推進していくため、これを支えるために必要な研究開発投資を拡充

II. 平成24年度における予算等の資源配分方針

- AP対象施策への最重点化
 - ①復興・再生並びに災害からの安全性向上
 - ②グリーンイノベーション
 - ③ライフイノベーション
 - ④基礎研究の振興及び人材育成の強化
- 23年度補正予算における機動的かつ迅速な措置

世界トップレベルの科学技術力を強化

東日本大震災を乗り越え、将来にわたる持続的な成長と社会の実現